

皆さんは、「友達」というと誰を思い浮かべますか。

多くの友達を思い浮かべる人もいれば、一人の友達を思い浮かべる人もいるかもしれません。

私は、「友達」というと…1人思い浮かびます。なかなか会えませんけれど、困ったことがあるとなんでも相談できる友達です。その友達といるとほっとします。そして安心できる存在です。

さて、このように友達との間にできる感情（気持ち）を「友情」と言います。

その「友情」ですが、私は、ある先生から「友情には、上・中・下がある」と教えていただきました。

下の友情は、物やお金だけでつながった関係。

中の友情は、仲が良かったり、世話をしたりする関係。

そして、上の友情は、心から相手のことを考えて行動し、一緒に成長できる関係です。

心から相手のことを考えて行動するとは、相手が悪いことをしていれば、それを止めて改めさせることです。

古い言葉に「その人を知るには、その友を見よ」とあります。

その子のことがわからない時は、付き合っている友達を見ればわかるということです。

それだけ友達とは大切な存在です。

皆さんには、この夏の雲小学校で「上の友情」で結ばれた友達を作ってくれたら嬉しいと思っています。